

令和3年度大阪府債発行計画(案)について

単位:億円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200								6,600±α
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200								
銀行等 引受債	証券 5年	100						100								
	証書	200						200								
フレックス枠		1,200±α														
共同発行債	10年	800														
合 計																7,400±α

下半期発行額
市場公募債と銀行等引受債
合計:2,700億円±α



単位:億円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	5,400
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	
銀行等 引受債	証券 5年	100						100	100						100	
	証書	200						200	200						200	
フレックス枠		1,400-α														
共同発行債	10年	800														
合 計																7,600-α

(注) 本計画は、民間資金にかかる月別の発行予定額であり、市場環境等により変更する場合がある。
フレックス枠とは、発行計画の策定に際し、時期や年限、総額等をあらかじめ定めず、市場の環境や投資家のニーズに応じて機動的に発行する枠である。
市場条件が整えば、フレックス枠を活用して外貨建て国内債を200億円程度発行する。
α: 公的資金の配分額に応じて発行予定額を調整

【発行額の基本的な考え方】

- ① 市場公募債 … 本府の基幹債である10年及び5年は、両年限とも毎月200億円を平準発行
- ② フレックス枠 … 200億円を前倒し発行/公的資金の配分額をαとし、配分に応じて発行予定額を調整